

# 電気代上乘せ月120円

## 来年度、再生エネ買い取り

再生可能エネルギーの普及を促す「固定価格買い取り制度」で、経済産業省は11日、月約7千円を支払う標準的な家庭の場合、2013年度の電気料金への上乗せ額が全国平均で120円に上がる見通しを明らかにした。12年度は平均87円だったが、5月の料金から新たな額が適用される。

経産省の調達価格等算定委員会が11日、13年度の買い取り価格案をまとめた。委員会は、経産省が影響を試算し

再生可能エネルギー発電の買い取り価格(2013年度)

種類	1kW時の価格	期間
太陽光	[規模] 10kW以上 42円→37.8円	20年
	10kW未満 42円→38円	10年
風力	23.1～57.75円	20年
地熱	27.3～42円	15年
中小水力	25.2～35.7円	20年
バイオマス	13.65～40.95円	20年

据え置きへ

た。太陽光の買い取り価格は引き下げられるが発電総量は増えていくため、家庭が支払う上乗せ額は拡大する。委員会がまとめた太陽光の価格案は、事業用の出力10kW以上が1kW当たり37・8円(消費税込み)、家庭が中心の10kW未満は38円。発電コストを検証した結果、いずれも42円としている12年度の水準は割高だと判断した。風力、地熱発電など太陽光以外は、導入実績が少ないため検証が難しく、全て据え置き。買い取り価格は茂木敏充経産相が月内に最終決定する。価格の引き下げで、太

陽光発電の導入が減速する可能性もある。この制度は、太陽光などで発電した電力を電力会社が買い取り、費用を広く料金に上乗せして回収する仕

組み。12年度以前に発電を始めた家庭や事業者からの買い取り価格は変わらず、買い取り期間は太陽光を含め、いずれも改定を見送る。